



学校だより



令和6年 9月2日
9月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

わたしには、よいところがあります

校長 樋川 宣登志

始業式が9月になり、長い夏休みになりました。この夏は、酷暑や地震・台風など自然災害に驚かされましたが、パリ・オリンピックの爽やかな感動も心に残りました(パラリンピックも始まりました)。子どもたちがさまざまな体験を通して蓄えた元気を、次の成長につなげていきます。今学期も、ご協力をお願いいたします。

さて、7月末、全国学力テスト(*1)の結果が公表されました。4月に小学6年・中学3年の国語・算数(数学)で実施した調査です。

東京都の平均正答率は、国語が全国4位(青森県同率)、算数が全国1位と上位でした。

第一小学校の平均正答率は、その東京都の数値を国語・算数ともに上回りました。学力の定着状況は概ね良好といえます。

点数や順位に一喜一憂することはありませんが、これからの学習の仕方のヒントにしたいです。

全国的な傾向を見ると、基礎的・基本的な知識・技能は身に付いているものの、「記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動を工夫することが重要。」(国語)、「データを言葉と数を使って表現する力を身に付けさせることが重要。」(算数)などが課題として指摘されています(*2)。国語はもちろん、算数でも、言葉を使って表現することが大切とされているのです。

基本的な知識や技能を身に付けることはもちろん大切ですが、今の社会では、自分の考えを言

葉で伝え、人とコミュニケーションをとりながら目標を達成していく力が重要です。

第一小でも同様の課題が見られます。幼稚園・保育園、そして小学校で経験する言語活動や友だちと過ごす活動が、数年に及ぶ感染症のために十分行えなかったことも心配されます。

感染症が落ち着きを見せた昨年度から、第一小では、子どもたちが自分の考えを表現したり、意見を交流したりする力を伸ばすために、授業中の話し合い活動を大切にしています。問題の○×だけでなく、自分がどう考えたか、友達はどう考えたか、コミュニケーションを通して、表現し交流する楽しさを感じてほしいです。

ところで、この調査では国語・算数のほかに、子どもたちの生活習慣や意識の調査も行われています。第一小の6年生の回答を見ると、そこには国語・算数よりもうれしい調査結果がありました。「自分には、よいところがあると思いますか。」という質問への肯定的回答が約90%、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」への肯定的回答が約95%という結果です。

様々な調査で日本の若者は自己評価・自己肯定感が低いと指摘されていますが、第一小の子どもたちは、自分のよさを感じているようです。

この回答100%を目指していきます。

*1 「令和6年度全国学力・学習状況調査」

(文部科学省・国立教育政策研究所)

*2 「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果(概要)」(同)